

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針について

当社は、「生活者に納得していただける優れた医薬品・健康関連商品および健康関連情報・サービスを、社会から支持される方法で創造、提供し、生活者の健康でより豊かな暮らしの実現に貢献すること」を使命としております。当社の経営は、この使命を全うすべく、厳しい国際的な競争の中でも着実に成長発展し続けられるように、一層強固な経営基盤を構築することを目指しております。

(2) 利益配分方針などについて

長期にわたり安定的且つ高水準の配当を継続するとともに、企業体質の強化を図る為、内部留保の充実に努めております。内部留保金は、研究開発投資、設備投資、新規事業開発投資などの基盤強化投資に充当して行く方針であります。

なお、株主様への利益還元策として、当中間期には3,962千株、8,066百万円の自社株買い入れを実施致しました。また当期の配当につきましては創業90周年記念配当5円を加えて30円に引き上げる予定であります。

(3) 中期的な会社の経営戦略などについて

主力のセルフメディケーション事業（一般用医薬品および健康関連商品事業等）の拡充と医薬事業（医療用医薬品関連事業）の強化に努めております。

セルフメディケーション事業分野では、健康の維持増進、病気の予防、早期発見、早期治療、軽医療などに関する生活者のニーズにマッチした製品ラインの充実に努めます。そして、医療用医薬品の研究成果やノウハウを応用して、有用性が高く、安全な新製品の開発を進めてまいります。また、スイッチOTCや特定保健用食品事業などの推進にも取り組んでおります。そしてそれらの製品が消費者の皆様から評価され、愛用されるようにブランドの育成、強化に努めます。本年7月にP&G社他からヴィックスメディケイティドロップの日本における商標の無期限使用権を取得致しましたが、これはブランド強化の一環として為されたもので、平成15年度以降業績に本格的に寄与する予定です。

医療用医薬事業分野では、国際的に通用するオリジナリティの高い新薬の研究開発に注力してまいりますとともに、流通面における各種制度や慣行の変革に対応して、販売態勢を整備し、販売効率の向上を図ります。

(4) 投資単位の引下げに関する考え方および方針等

当社は、株式投資単位の引下げが株式市場の流動性を高め、また広範な投資家層の参加を促すための有効な施策であると理解しております。一方で、投資単位の引下げに伴い諸費用の増嵩が予想されますので、今後の市場の動向や要請などを充分勘案して、株主利益の視点で慎重に対処してゆきたいと考えております。

(5) 経営管理組織の整備等に関する施策について

平成12年度より基幹系業務システムの再構築を重要課題に掲げ、全社挙げて業務の見直しと情報システムの刷新に取り組んでまいりました。平成15年度上期中には稼働開始の予定であります。

この新たなシステムの下で経営管理体制を一層強化する為、財務管理部を本年4月設立し、その準備に当たっております。加えて各事業部門の体制見直しも行き、セルフメディケーション事業部門では商品戦略、ブランドマネジメントを一層強化する為、カテゴリーマネージャー部を商品企画部、商品開発推進部、カテゴリーマネージャー部（部署名は変えず部署の機能を変更）に分割・再編成致しました。医療用医薬事業分野では開発体制の充実に努める為、開発推進部と臨床開発部を統合させ、医薬開発部と致しました。

(6) 富山化学工業株式会社との資本および業務提携について

当社は医療用医薬品事業の強化を目指して、平成14年8月9日、富山化学工業株式会社と資本提携及び医療用医薬品事業の研究開発・販売に関して戦略的に提携することについて合意に達し、同日基本合意書に調印しました。この合意に基づき平成14年9月9日、両社間で企業提携契約書及び新設販売会社設立のための株主間協定に調印致しました。これにより順次提携の手続きを進めておりますが、概要は次の通りです。

富山化学工業株式会社の株式の取得

株式の取得方法 富山化学工業株式会社の第三者割当増資を当社が引受け

取得株式数 普通株式 43,000,000株
(本件第三者割当実施後、発行済株式の約22%)

発行価額 434円

払込日 平成14年9月25日

本件増資引受けにより、富山化学工業株式会社は当社の持分法適用会社となっております。

医療用医薬品の国内販売会社の新設

当社は富山化学工業株式会社との共同出資により医療用医薬品分野の国内販売会社を設立しました。平成15年3月末までは、必要許認可等の取得をはじめ、新会社の本格稼働に向けての準備期間とし、営業活動は一部のコ・プロモーションを行うのみと致しております。また、今後発売される両社の開発品については、新販売会社が国内での第一選択権を持ちます。新販売会社は当社の連結子会社となります。

< 新販売会社の概要 >

商号 大正富山医薬品株式会社
代表者 代表取締役会長 中野 克彦 (富山化学工業株式会社社長兼CEO)
代表取締役社長 上原 明 (当社社長)
設立日 平成14年10月8日
本店所在地 東京都豊島区高田三丁目25番1号
事業内容 医療用医薬品の販売及びプロモーション
決算期 3月期
従業員数 約1,300名 (内MR約千名) 当社、富山化学工業株式会社からの出向
資本金 5億円
株主資本 10億円
発行済株式総数 10,000株
株主構成 当社 (取得株数5,500株、所有割合55%)
富山化学工業株式会社 (取得株数4,500株、所有割合45%)
本格稼働時期 平成15年4月頃の予定

医療用医薬品事業の研究開発における協力体制等の構築ほか

医療用医薬品事業における創薬・開発研究面の協働、研究開発要員の相互活用、化合物ライブラリー・治験施設等のプラットフォームの相互利用、特定領域における共同開発権の所得に関する第一選択権の相互付与などの協力体制の構築に加え、海外での医療用医薬品事業における提携、国内での医療用医薬品販売に関わる販売権に関する提携及び物流の合理化などの点について、両社で検討を重ね、合意に至ったものから順次契約を締結し、実施に移しております。